

令和6(2024)年度 とちぎネットアンケート結果

第10回 障害者差別の解消について

1 調査目的

栃木県障害者差別解消推進条例に基づき、平成30年3月に障害者差別対応指針を策定するなど、障害者差別の解消に取り組んでおり、障害者への合理的配慮を促す一助となることを期して、ヘルプマークの配布を行っているところです。今後の障害者差別解消に係る施策の基とするため、県民への理解浸透度の調査を実施します。

(担当課:保健福祉部 障害福祉課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

822名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和6(2024)年10月22日～11月4日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答

3 回答者属性

回答数 491名 (回答率59.7%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	201	40.9 %
女性	285	58.0 %
未回答	5	1.0 %
計	491	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.2 %
20代	9	1.8 %
30代	33	6.7 %
40代	130	26.5 %
50代	131	26.7 %
60代	119	24.2 %
70代以上	68	13.8 %
計	491	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	243	49.5 %
県南	138	28.1 %
県北	110	22.4 %
計	491	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

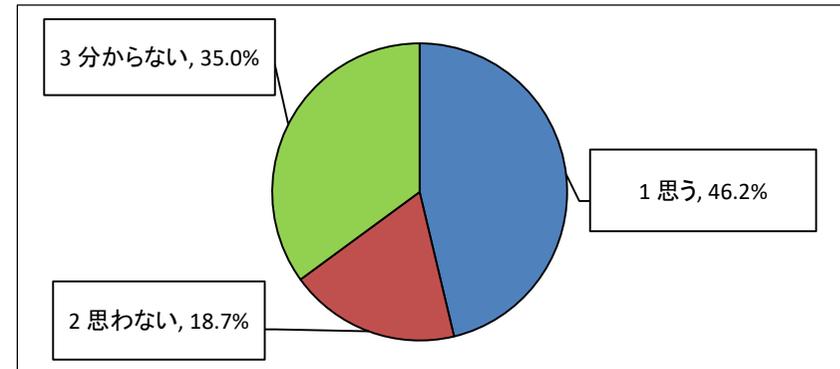
4 調査結果

問1 あなたは、障害のある方に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 思う	46.2%	227
2 思わない	18.7%	92
3 分からない	35.0%	172

(n = 491)



問2 (問1で選択肢1を選んだ方にお聞きします。)

具体的にどのような差別や偏見かお書きください。※場面、内容、事由などを具体的に記入してください

(自由記述)

意見数: 227件

○主な意見

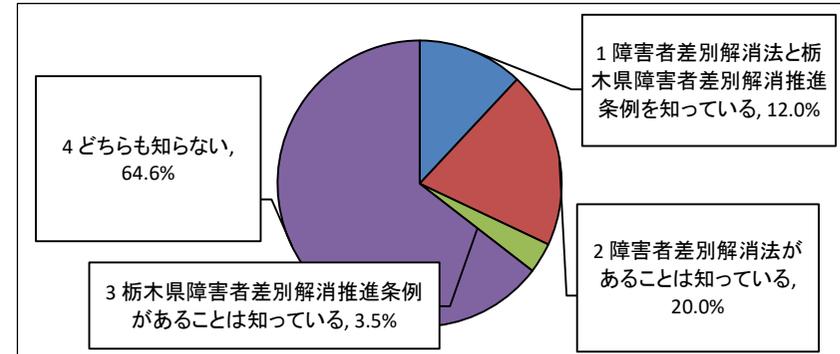
意見数	内容
54	障害のある人を「かわいそう」「他の人と同じことはできないだろう」など特別な目で見てしまうことがある
34	じろじろ見られたり、距離を取られることがある
24	悪口や陰口を言われることがある
19	「簡単な作業しか任せない・任せられない」ことがある
11	入店拒否・乗車拒否・盲導犬同伴拒否などサービスの提供を拒否されることがある
8	障害のある人の移動や行動に時間がかかるとイライラしてしまうことがある

問3 あなたは「障害者差別解消法」や「栃木県障害者差別解消推進条例」があることを知っていますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 障害者差別解消法と栃木県障害者差別解消推進条例を知っている	12.0%	59
2 障害者差別解消法があることは知っている	20.0%	98
3 栃木県障害者差別解消推進条例があることは知っている	3.5%	17
4 どちらも知らない	64.6%	317

(n = 491)



問4 障害者差別解消法や栃木県障害者差別解消推進条例において、障害のある方への「合理的配慮」が求められています。

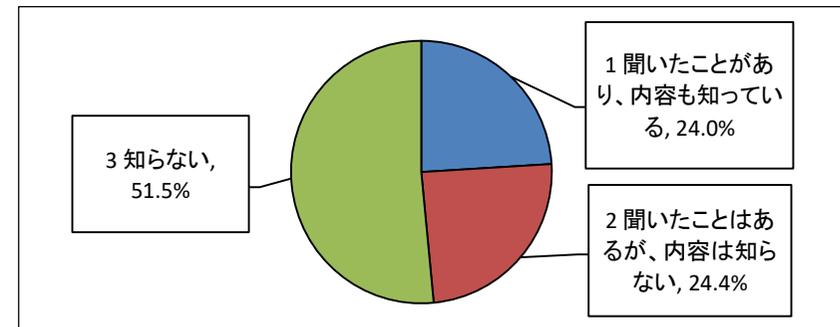
あなたは、「合理的配慮」※について知っていますか。

※合理的配慮・・・そのときの状況に応じて、障害のある方が障害のない方と同じように学ぶ、働くなどの社会参加をする上で困っていることを伝えられたとき、
過重な負担のない範囲で、対応すること。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 聞いたことがあり、内容も知っている	24.0%	118
2 聞いたことはあるが、内容は知らない	24.4%	120
3 知らない	51.5%	253

(n = 491)



問5 (問4で選択肢1又は2を選択した方にお聞きします。)

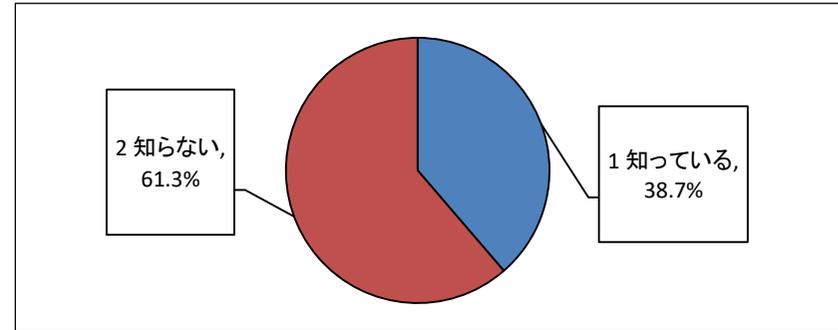
あなたは、障害者差別解消法及び栃木県障害者差別解消推進条例が改正され、本年4月から事業者※による合理的配慮の提供が義務となったことを知っていますか。

※事業者・・・商業その他の事業を行う企業や団体、店舗であり、目的の営利・非営利、個人・法人の別を問わず、同じサービス等を反復継続する意思をもって行う者であり、個人事業主やボランティア活動をするグループなども該当する。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 知っている	38.7%	92
2 知らない	61.3%	146

(n = 238)



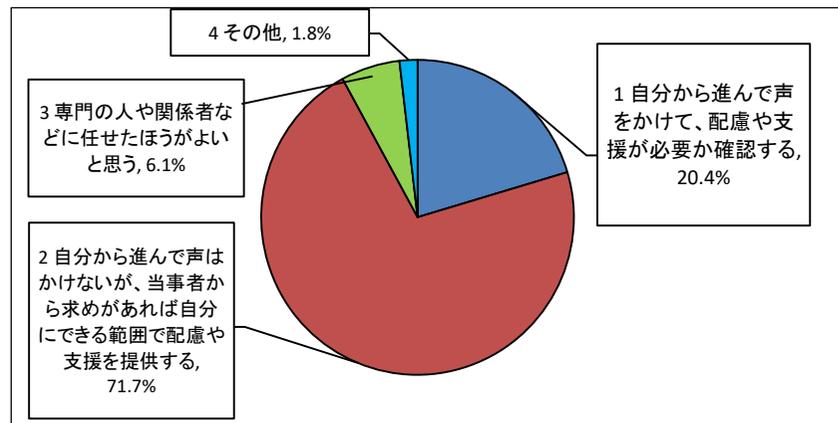
問6 困っている障害者やヘルプマーク※の携帯者を見かけたとき、あなたの行動や気持ちとして最も当てはまるものを次の中から1つ選んでください。

※ヘルプマーク・・・聴覚障害や失語症、発達障害がある方など、外見から分かりにくい、配慮や支援を必要としていることを周囲に知らせるために作られたマーク

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 自分から進んで声をかけて、配慮や支援が必要か確認する	20.4%	100
2 自分から進んで声はかけないが、当事者から求めがあれば自分にできる範囲で配慮や支援を提供する	71.7%	352
3 専門の人や関係者などに任せたほうがよいと思う	6.1%	30
4 その他	1.8%	9

(n = 491)



【その他の主な内容】

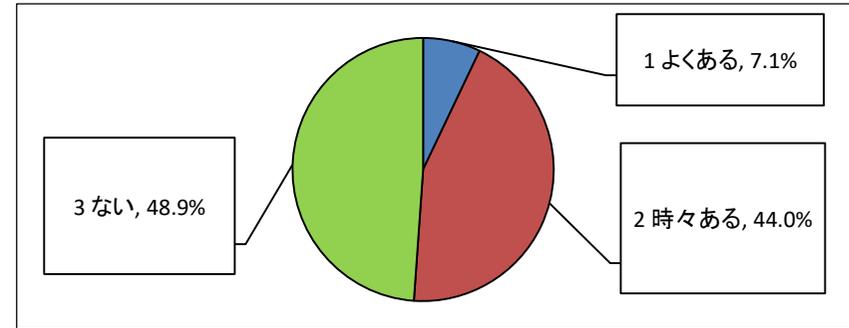
- ・まず様子を伺い、何か困っている様子が見られたら声をかける(他類似意見1件)
- ・どのように声をかけ、接したら良いのか分からず躊躇してしまう(他類似意見2件)

問7 あなたは、障害のある方に対して、「何かお手伝いしましょうか。」と声をかけるほか、手助けや配慮をしたことがありますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 よくある	7.1%	35
2 時々ある	44.0%	216
3 ない	48.9%	240

(n = 491)



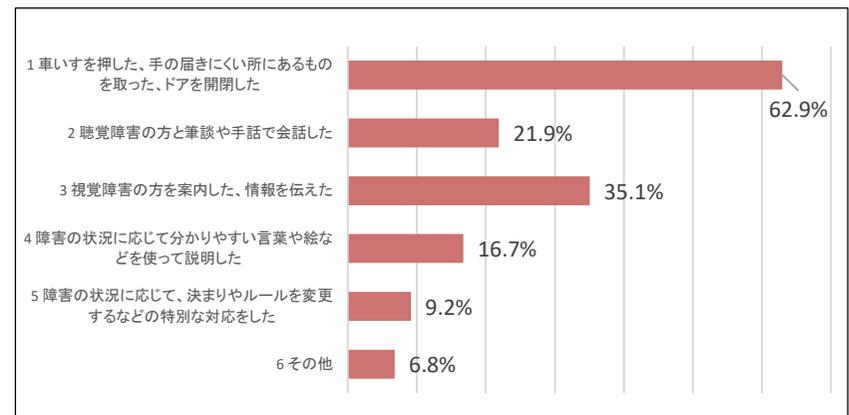
問8 (問7で選択肢1又は2を選択した方にお聞きします。)

どのような手助けや配慮をしましたか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 車いすを押した、手の届きにくい所にあるものを取った、ドアを開閉した	62.9%	158
2 聴覚障害の方と筆談や手話で会話した	21.9%	55
3 視覚障害の方を案内した、情報を伝えた	35.1%	88
4 障害の状況に応じて分かりやすい言葉や絵などを使って説明した	16.7%	42
5 障害の状況に応じて、決まりやルールを変更するなどの特別な対応をした	9.2%	23
6 その他	6.8%	17

(n = 251)



【その他の主な内容】

- ・手伝いが必要か声かけを行った(他類似意見4件)
- ・道や席を譲ったり、道路横断等の手伝いをした(他類似意見5件)

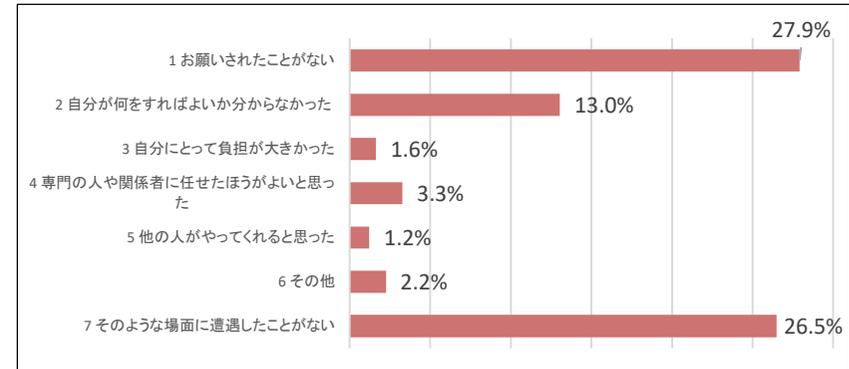
問9 (問7で選択肢3を選んだ方にお聞きします。)

手助けや配慮をしたことがない理由は何ですか。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 お願いされたことがない	27.9%	137
2 自分が何をすればよいか分からなかった	13.0%	64
3 自分にとって負担が大きかった	1.6%	8
4 専門の人や関係者に任せたほうがよいと思った	3.3%	16
5 他の人がやってくれると思った	1.2%	6
6 その他	2.2%	11
7 そのような場面に遭遇したことがない	26.5%	130

(n = 240)



【その他の主な内容】

・声をかけることで、不審に思われたり迷惑・余計なお世話だと思われることが嫌だから(他類似意見6件)